

まき

薪ストーブを安全に使用するために

最近の原油急騰に伴い、薪ストーブの需要が高まっています。しかし、最近の住宅構造は石油ストーブ用となっていることから、誤った設置や使用により、火災の危険性が高まることが考えられます。

そこで、安全装置のない薪ストーブを安全に使用するために、次の項目に注意してください。

薪ストーブ、煙突の設置は、建築基準法、消防法や火災予防条例に従います。

薪ストーブ、煙突と可燃物や壁とは一定距離以上離してください（図参照）。

薪ストーブの近くで衣類など、燃えやすい物を乾燥させないでください。

薪ストーブの近くに薪を置いたり、乾燥させないでください。

ガソリンなどの可燃性の強い液体は、絶対に燃料としないでください。大変危険です。

薪以外の燃料（石炭、豆炭、プラスチック、ビニール、発泡スチロールなど）は絶対に燃やさないでください。

灰の処理は、炎が完全に消えたのを確認してから行ってください。掃除機で吸い取るのは危険です。

また、燃えやすい物に入れたり、屋内には絶対に保管しないでください。

煙突掃除は定期的になさってください。煙突の詰まりは煙道火災の原因になり危険です。また、湿った薪を使用するとタールがたまりやすくなるので、必ず乾燥した薪を使用するようにしてください。

消火器を備えておき、いつでも使える状態にしておいてください。

煙突の基準（火災予防条例）

